

天童市

【特集】

天童市市制施行60周年 記念事業



天童市は、昭和33年10月1日に県下10番目の市として誕生し、平成30年10月1日に市制施行60周年を迎え、記念式典が開催されました。天童市芸術文化協会は、記念式典でのステージ発表、作品の展示や呈茶などの催しを行い、記念の日を華やかに彩り、賑わい豊かにしました。



祝 設立40周年

●天童市書道連盟

(鈴木千岳会長)

記念祝賀会

日時 平成31年1月27日(日)

会場 ほほえみの宿「滝の湯」

祝 設立30周年

●まいづるコーラス

(柳川祐子代表)

記念感謝のつどい

日時 平成30年12月24日(月・祝)

会場 緑の迎賓館「アンジェリーナ」

祝 設立30周年

●天童歌謡クラブ

(奥山恒彌会長)

記念祝賀会

日時 平成31年2月24日(日)

会場 天童グランドホテル舞鶴荘

天童混声合唱団 第43回特別定期演奏会

フォーレのレクイエムを オーケストラとプロのソリストと共に歌います

県合唱界で、長年合唱の普及振興に努めてきた瀧口正彦先生の集大成演奏会です。また、天童混声合唱団にとっても終戦後に誕生して75周年、瀧口先生指揮指導35回目の記念演奏会です。今回は特別に瀧口先生と縁のあるプロの演奏家をお招きし、今回の演奏のために組織した特別オーケストラにて歌います。一般市民、合唱愛好家に呼びかけて「天童 フォーレのレクイエムを歌う会」として現在、合唱団を広く募集しております。第1回目の練習は4月28日(日)13:30から市民文化会館で行います。月2回ほど練習していき、本番は**2020年2月23日(日)**です。この機会に多くの皆様に合唱の良さ音楽の良さを、歌う事聞く事で感じてもらいたいと思います。

お問い合わせ：工藤 (TEL090-3758-3394)

平成30年度 天童市芸術文化協会加盟団体

番号	団体名	代表者	番号	団体名	代表者
1	村山美術	伊藤有光	25	天童俳句会	長谷川義昭
2	宝樹社	伊藤有光	26	天童なつメロ愛好会	蜂谷多喜男
3	らくがき会	辻輝彦	27	舞踊連盟鳳舞会	松若寿恵玲
4	天童短歌会	鈴木綾子	28	天童市野草と親しむ会	佐藤定四郎
5	天童市合唱連盟	工藤俊孝	29	葵バレエスタジオしらゆり会	工藤葵
6	若葉の音楽会	奥山善廣	30	川東民謡連合会	佐藤昭二
7	ビッグ・スウィング・フェイス	阿部豊明	31	日本将棋連盟天童支部	大泉義美
8	天童市書道連盟	鈴木千岳	32	天童広重研究会	辻輝彦
9	全日本写真連盟天童支部	渡辺哲志郎	33	箏愛好会(箏慶会)	宮本伶慶
10	天童梅若亀弘会	松田充弘	34	天童市大正琴愛好会	斎藤正子
11	天童緑鳳会	安喰邦男	35	天童押し花サークル	山口静子
12	乾ふじ会	藤間乾	36	天童市伝承芸能保存団体協議会	山口清志
13	佛向寺踊躍念佛保存会	井澤隆徳	37	天童春蘭愛好会	西久保宗三
14	高嶺聖霊菩提獅子踊保存会	岡崎俊雄	38	天童ハワイアンクラブ	東海林仁
15	天童維新軍楽隊保存会	山口清志	39	天童歌謡クラブ	奥山恒彌
16	天童市詩吟愛好会連絡協議会	明泉恵一	40	能楽あ字門の会	森川慶子
17	天童市茶華道連合会	佐野宗鶴	41	日本画竹馬会	設楽雅信
18	天童郷土研究会	湯村章男	42	天童ジュニアオーケストラ	増川のぶ子
19	吉田大八会	矢吹海慶	43	パッチワークサークルドリームコットン	山崎弘子
20	天童盆栽愛好会	黄木紘友	44	天童菊の会	佐藤政幸
21	日本盆栽協会天童支部	瀬野文義	45	YCBクリスタルサウンズ	海鉾貞憲
22	天童民謡寿菁会	伊藤完一	46	えむうちがさエコーロード・バレエ Open-MG・ミグ・Studio	内ヶ崎見佳子
23	雑誌「天童」	鈴木実	47	式十壺鶴堂	鶴英里子
24	天童市吹奏楽愛好会	花輪道雄			



天童市芸術文化協会

会長 辻

輝彦

文化力は国の礎 いしずえ

天童市市制施行六十周年協賛、第五十六回県民芸術祭協賛を旗印として、昨秋に開催された「第五十五回天童市民芸術祭」では、それぞれに素晴らしい十一のステージや十三の展示会・展覧会、六つの講座・研究会が催され、天童市民の皆さんに大いにお楽しみいただきました。改めて、深く感謝申し上げます。

そうした中であつて、本協会が、天童市市制施行六十周年記念式典の協賛イベントとして、一年掛かりで取り組んだ舞台発表や展示・呈茶が、来場者の皆さんから大いなる喝采と称揚を受けたことは、未だ記憶に新しいところでもあります。

最近の芸術文化を巡る動きとしては、新天皇の即位に合わせて、国民文化祭が天皇臨席の国事行為としての地方公務に格上げされたことや、平成十年代の計画に比してだいぶ矮小化された感はあるものの、山形県総合文化芸術館が開館の運びに至ったことなどがありますが、こうしたことを契機に、本県においても、他県に互した芸術文化活動が展開されることを期待するものであります。

文化は精神の栄養(俳優の美輪明宏氏の言)と申します。

また、『文化力は国の礎』であるとも言われております。

或る経済人によれば、現在の日本は、「知の退廃」が進んで自己変革力が枯渇し、「ゆでガエル状態」にあるとのことですが、これを文化的側面より捉えれば、和の伝統文化としての「諧調の美」が崩れつつある中、それに代わり得る「乱調の美」や「新たな美」も育っていない危うい状況にあるものと存じております。

こうした観点に立ち、本協会では、行政や加盟団体と共に、本市の芸術文化の更なる振興に努めて参りますので、市民の皆様篤い御支援をお願い申し上げます。



天童市芸術文化協会

天童市内で活躍する文化団体が連携を図り、文化活動の健全な発展と、地域文化の振興を図ることを目的として、「天童市民芸術祭」の運営や「天童市芸術文化振興基金」を活用した市民の芸術文化活動の支援を行っています。

平成27年から、名称を「天童市文化団体協議会」から「天童市芸術文化協会」に変更し、新たな天童市芸術文化協会の更なる発展と本市の芸術文化の振興のため、活動してまいります。

加盟申込み
問合せ

天童市市民部文化スポーツ課 芸術文化係

電話023-654-1111

〒994-8510 天童市老野森1丁目1番1号



創るよろこび、
深めようわれらの文化

第55回天童市民芸術祭

●村山美術・宝樹社



「市民美術展」

第55回市民美術展が「創るよろこび、深めよう、われらの文化!」のテーマで、開催されました。1階に児童生徒、2階に愛好家の作品を展示。絵画や彫刻など多彩な作品が来場者を楽しませることができました。

●らくがき会



「幼児と絵描きで遊ぼう会」

落葉をボンドで貼り造形して一時を楽しむ親とこどもさんです。

●若葉の音楽会



「レインボーコンサート2018」

創学館高校の生徒さんはじめ、総勢6組のバンドさんの出演でした。最後には会場の皆さんと一緒にY・M・C・Aで大団円!

●天童短歌会、天童俳句会、雑誌「天童」



「短歌、俳句、雑誌「天童」合同展」

短歌、俳句の展示では、日々の生活や四季折々の風景から感じる感想や感動を個性豊かに表現し、美しく書いた色紙を展示しました。雑誌「天童」の展示では、創刊以来40年間で発行した、市民の雑誌「天童」、「ひろば」、「天童・ひろば」(通巻・112号)とそれらの雑誌の表紙を飾った「原画」、そして、「雑誌・天童」の執筆者によって刊行された単行本を展示しました。合同で展示会を行うことにより、たくさんの方々に関心を持ってもらうことができました。



●日本盆栽協会天童支部



「日本盆栽協会天童支部展示会」

秋の展示会は、約270名の来場者がありました。今後も、盆栽の魅力を多くの方々に伝えていきたいと考えております。

●天童広重研究会



「天童広重研究会 文化講演会」

当会会員でもある伊藤有光氏を講師に、「日本画の絵具」について画材や道具を交えながら、歴史や性質などを分かりやすく講演していただきました。

●天童春蘭愛好会



「天童春蘭愛好会展示会」

会員が丹精込めて育てた自信作品を毎年春、秋の2回展示会を開催しております。春は春を告げる花物、秋は様々な葉の模様の柄物を主体に展示会で技術を高めています。

アドラクション



天童ハワイアンクラブの皆さん

受賞者代表あいさつ



天童菊の会 五十嵐 友一 様
(功労賞受賞)

会長あいさつ



辻 輝彦 会長

平成30年度

新春のつどい

日時
平成31年2月20日(水)
午後6時

場所

ほほえみの宿 滝の湯



全員で声高らかに万歳三唱

部門別芸術祭日程表

《展示・発表部門》

催 物	実施期日	会 場	実施団体
天 童 盆 栽 愛 好 会	10月5日(金)~10月7日(日)	市民プラザ	天 童 盆 栽 愛 好 会
日本盆栽協会天童支部展示会	10月12日(金)~14日(日)	市民プラザ	日本盆栽協会天童支部
茶 会 ・ 花 展	花展: 10月13日(土)~14日(日) 茶会: 10月14日(日)	市民文化会館	天童市茶華道連合会
天 童 菊 花 展	10月19日(金)~11月5日(月)	わくわくランド	天 童 菊 の 会
第55回市民美術展	10月23日(火)~28日(日)	市民プラザ	村山美術・宝樹社
全日本写真連盟天童支部展示会	10月29日(月)~11月4日(日)	市民プラザ	全日本写真連盟天童支部
幼児と絵描きで遊ぼう会	11月2日(金)	市民プラザ	らくがき会
短歌、俳句、雑誌「天童」合同展	11月9日(金)~11日(日)	市民プラザ	天 童 短 歌 会 天 童 俳 句 会 雑 誌 「 天 童 」
天童春蘭愛好会展示会	11月10日(土)~11日(日)	市民プラザ	天 童 春 蘭 愛 好 会
第66回市民書道展	11月21日(水)~25日(日)	市民プラザ	天 童 市 書 道 連 盟
第38回天童書道クラブ展	11月30日(金)~12月2日(日)	市民プラザ	天 童 書 道 ク ラ ブ
第39回日本画竹馬会展	12月4日(火)~9日(日)	市民プラザ	日 本 画 竹 馬 会
第25回押し花額絵作品展(押し花しおり作り無料体験)	12月13日(木)~16日(日)	市民プラザ	天童押し花サークル

《音楽・演劇・舞踊部門》

乾 ぶ じ 会 ・ 鳳 舞 会	10月7日(日)	市民文化会館	舞 踊 連 盟 鳳 舞 会
日本舞踊合同公演			乾 ぶ じ 会
YCBクリスタルサウンズ			
第6回定期演奏会	10月21日(日)	市民プラザ	YCBクリスタルサウンズ
天童市吹奏楽の祭典	10月28日(日)	市民文化会館	天童市吹奏楽愛好会
天童混声合唱団定期演奏会	11月3日(土・祝)	市民文化会館	天 童 混 声 合 唱 団
天童梅若謡曲素謡大会	11月11日(日)	市民プラザ	天 童 梅 若 竜 弘 会 天 童 緑 鳳 会
天童コーラスフェスティバル2018	11月18日(日)	市民文化会館	天 童 市 合 唱 連 盟
第22回天童市琴城流大正琴愛好会発表会	11月24日(土)	市民プラザ	天童市大正琴愛好会
第45回天童詩吟愛好会吟詠吟舞大会詩吟の集い	11月25日(日)	市民プラザ	天童市詩吟愛好会連絡協議会
なつメロと新舞踊のひととき	12月2日(日)	市民文化会館	天童なつメロ愛好会
レインボーコンサート	12月9日(日)	市民文化会館	若 葉 の 音 楽 会
ビッグスウィングフェイス第40回記念リサイタル	12月16日(日)	市民文化会館	ビッグスウィングフェイス

《講座・民俗芸能・将棋部門》

第55回市民史跡めぐり	10月13日(土)	置 賜	天 童 郷 土 研 究 会
第24回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会	10月20日(土)、21日(日)	市総合福祉センター	日本将棋連盟天童支部
第48回市民将棋大会			
初めて知る天童の歴史講座	第1回 9月15日(土) 第2回 10月20日(土) 第3回 11月10日(土) 第4回 12月 8日(土)	市立図書館 (9月15日は現地)	天 童 郷 土 研 究 会
佛向寺踊躍念佛公開	11月17日(土)	佛向寺	佛向寺踊躍念佛保存会
天童広重研究会 文化講演会	12月16日(日)	広重美術館	天 童 広 重 研 究 会
もみじの天童・紅葉名所巡り	11月10日(土)	天童市内各所	天童市野草と親しむ会



今野忠一

今野忠一画伯(1915～2006)は、日本美術院という美術団体に所属した日本画家です。大正4年(1915)、天童市上荻野戸に生まれ、小さい頃から絵を描くことが好きでした。

昭和6年(1931)、山形市の南画家後藤松亭画伯に絵を学びます。

昭和9年(1934)に上京し、児玉希望画塾に入門、絵の勉強を進めていきます。

昭和15年(1940)に開催された郷倉千靱画伯の個展を見て深い感銘を受け、郷倉画伯から絵を学びたいと決心し、郷土出身で日本美術院同人だった彫刻家の新海竹蔵氏の紹介を受け、郷倉画伯に入門します。その後、この年の秋に開催された再興院展に初入選します。次の入選は戦後の昭和21年(1946)でしたが、その作品は常に注目されました。郷倉画伯に師事してしばらくは師と同じ花鳥画を発表していましたが、風景を描きたい思いが強くなり風景画を描くようになります。

今野画伯が描いた風景画は重厚感を感じさせ、戦後新しい日本画を求める人々から高い評価を得ました。長い院展での活動では文部大臣賞・内閣総理大臣賞などの栄誉も授かりました。後進の指導にも力を入れており、愛知県立芸術大学や東北芸術工科大学などで指導を行い、数多くの日本画家を育てました。

平成2年(1990)に天童市美術館が開館してからは院展出品作品の寄贈や展覧会開催支援などを行い、天童市美術館の運営を支援しました。

平成2年(1990)10月、天童市は今野画伯の功績を讃え、天童市名誉市民の称号を贈りました。

(「天童市美術館所蔵名品集」より引用)



特集 天童市

■展示

●期日:平成30年9月30日(日)午前10時～午後5時
10月 1日(月)午前10時～午後4時

●場所:天童市市民文化会館
大集会室・展示室・ホワイエ・ピロティ

参加団体名

- ・村山美術・宝樹社・らくがき会・天童短歌会
- ・天童市書道連盟・天童市茶華道連合会
- ・天童郷土研究会・雑誌「天童」
- ・日本将棋連盟天童支部・天童押し花サークル
- ・天童春蘭愛好会・日本画竹馬会
- ・パッチワークサークルドリームコットン
- ・天童菊の会

■呈茶

●期日:平成30年9月30日(日)午前10時～午後4時
10月 1日(月)午前10時～午後4時

●場所:天童市市民文化会館 ロビー

参加団体名

- ・天童市茶華道連合会

■公演(ステージ発表)

●期日:平成30年10月 1日(月)午後1時～(記念式典)

●場所:天童市市民文化会館 大ホール

●曲目:「いのちの歌」、「手のひらを太陽に」、
「天童市市民歌」

出演者

(1)「いのちの歌」

指揮 藤野祐一さん(山形オペラ協会会長・声楽家)

ソリスト 阿部政子さん(声楽家)

藤野恵美子さん(声楽家)

ピアノ伴奏 森谷莉紅さん

天童市合唱連盟

(2)「手のひらを太陽に」

指揮 阿部豊明副会長

天童市合唱連盟、YCBクリスタルサウンズ、
市内園児

(3)「天童市市民歌」

指揮 瀧口正彦副会長

天童市合唱連盟、YCBクリスタルサウンズ、
記念式典出席者

※天童市合唱連盟(50音順)

- ・オアシスコーラス
- ・カンタ・フェリーチェ
- ・天童混声合唱団
- ・天童少年少女合唱団
- ・ハミングバース
- ・まいづるコーラス
- ・山口マンデーコーラス

市制施行60周年記念事業

部門長 コメント

天童市市制施行60周年記念式典が、天童市民の皆様の御協力と関係各位の御尽力のお蔭をもちまして、盛大に思い出深い祭典として終了しました。心から感謝申し上げます。

公演部門長: 松村 昌子 副会長

公演部門では、幼稚園の子供達から80歳代の方々迄の大合唱を披露しました。「手のひらを太陽に」と「いのちの歌」の2曲を会場の皆様と共に声高らかに歌いました。2曲への思いは、ここ天童市が「子供達が生き生きと暮らせる、希望を持てる市として益々発展すること。」と、「命を大切にすることを、一人ひとりが今までの歩みを繋ぎながら、未来へ伝えていける町になること。」にあり、祈りを込めて選びました。式典当日の皆様の歌声は、天高くどこまでも響いていました。



ステージ発表

いのちの歌

記念式典のオープニングでは、はじめに、山形オペラ協会会長・声楽家の藤野祐一さんの指揮により、天童市合唱連盟(80名)が「いのちの歌」を合唱しました。「いのちの歌」では、ソリストとして声楽家の阿部政子さんと藤野恵美子さん、ピアノ伴奏者として森谷莉紅さんの出演・協力により、華やかで温かく感動的な合唱となりました。

手のひらを太陽に

天童市合唱連盟に市内の園児(170名)が加わり、天童市芸術文化協会の阿部豊明副会長の指揮、YCBクリスタルサウンズ(30名)の演奏により、明るく元気な「手のひらを太陽に」が披露され、会場が笑顔であふれる微笑ましい舞台になりました。

天童市市民歌斉唱

厳かに記念式典が始まり、天童市芸術文化協会の瀧口正彦副会長の指揮により、天童市合唱連盟と記念式典の出席者が、「天童市市民歌」の斉唱を行い、大ホールとステージが一体となって天童市の未来を祝うかのように歌声が響きわたりました。

展示部門長: 鈴木 千岳 副会長

天童市に関わる多くの方々による作品(絵画・書道・写真・文芸・生け花・盆栽・押し花・パッチワークなど)の展示、郷土史、日本の将棋界最高クラスの方々の直筆の書、芸文協発足当初の著名なの方々による気楽に書かれた横巻、そして呈茶によるおもてなしなど各団体、個人共精一杯制作し、ことにあたりました。市芸文協47団体の加盟は他市に誇るべきことです。横の連携を深め、更に若い方々に魅力ある活動をしていく必要があります。



9月30日から10月1日の2日間にあたり、14の文化団体による展示が行われました。会場には、将棋の棋士直筆の色紙、絵画、自由に表現された文字・絵・詩歌の巻物、短歌、書、生け花、歴史資料、書籍、押し花作品、春蘭、パッチワーク作品、菊と多彩な作品がたくさん展示され、会場を訪れた多くの人々の目を楽しませていました。

会場では、日本の美を豊かに表現した生け花に多くの人々が足を止めて見入り、伝統文化の魅力を感じていました。

呈茶席にも、多くの人々が立ち寄り、心を込めて入れたお茶をゆっくりと堪能し、温かいおもてなしに心を和ませていました。



市制施行60周年を祝うため、「60」の形に丹精こめて育てた祝賀菊です。10月1日の記念式典時には、まだつぼみでしたが、10月下旬の菊花展では、見事に美しく花開き、多くの人々が注目して鑑賞していました。

平成30年度 功労賞・奨励賞受賞者一覧



功労賞

- ・大内 久子様 (村山美術)
- ・東海林 壽江様 (天童市書道連盟)
- ・藤間 波津久様 (乾ふじ会)
- ・鈴木 きくよ様 (天童民謡寿菁会)
- ・笠原 登様 (天童広重研究会)
- ・細矢 金一様 (天童春蘭愛好会)
- ・五十嵐 友一様 (天童菊の会)



奨励賞

- ・松田 壽美恵様 (宝樹社)
- ・齋藤 初様 (天童市野草と親しむ会)
- ・日野 高志様 (YCBクリスタルサウンス)



天童の文化探訪

●安楽寺山門

あんらくじ さんもん

安楽寺山門は総合交通安全センターの北側、天童市高揃集落の南西の角に位置し、安楽寺本堂に至る参道の中間地点にある。その歴史は享保十五年(1730年)安楽寺第十八世良照上人の発願で起工され、元文三年(1738年)五月に十九世良三上人の代に完成したと伝えられ八年の年月を費やした建築物である。

また、その規模は間口5・87m、奥行き4・30m、高さ10・58mの三間二戸の八脚門式二重門(二階建の門で上重、下重ともに屋根がある)で二階楼内には釈迦如来像や十六羅漢像が安置されていた仏間があった。また高欄つきの回縁の四隅には擬宝珠を備え、釣り灯籠の痕跡もみられるなど江戸中期の建築様式を今に伝える数少ない山門として、平成九年には天童市の文化財に指定されている。

なお、現在の建造物は
大正十一年(1922年)
に萱葺屋根を亜鉛鉄板葺
に改造、平成八年(1996年)にも柱や桁の一部に補修が加えられている。

また、安楽寺は享徳三年(1454年)の創建といわれ戦国末期に高揃築城とともに荒谷地内より現在地に移転したといわれており、西通り三十三観音、並びに山形百八地藏尊霊場の札所として多くの巡礼者が足を運んでいる。



【編集後記】

この度、会報「きらめき」第7号を発行させていただけるのも、ひとえに市民の皆様のご理解とご協力、また会員皆様のお陰様です。感謝申し上げます。

今年度は、天童市市制施行60周年という大きな節目の年でした。天童の芸術文化が美しくも美しい花を60年の歳月、絶えることなく咲かせ続けられたのは、皆様の情熱と努力あってこそです。今後も皆様のご意見、ご感想を頂戴しながら、会報「きらめき」が、激変していく世の中に、夢と希望を持ち続けるための一助となる事を願いまして、編集後記と致します。

編集委員長：松村 昌子

- ◆編集委員…松村昌子、伊藤有光、高橋秀司、大山るり子、佐藤すみえ、鈴木綾子、松若寿恵玲、奥山善廣
- ◆アドバイザー…森 睦



題字
鈴木千岳

●天童市芸術文化協会と「きらめき」について御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記の連絡先までお寄せください。

〒994-8510 天童市老野森一丁目1番1号 天童市芸術文化協会事務局 (天童市市民部文化スポーツ課内)
TEL:023-654-1111 内線 262 FAX:023-653-0744 E-mail:bunka@city.tendo.yamagata.jp